



図1 庁舎建設用地案内図



新庁舎建設実施設計がまとまりました

これまでも本紙でお知らせしてきましたとおり、市では、新庁舎の実施設計を進めてきました。このほど、実施設計図面がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。また、工事着工に向けて実施する施工者選定についても合わせてお知らせします（図面等設計の詳細は、2・3面に掲載しています。また、これまでの経過等については4面に掲載していますので、ぜひご覧ください）。
☎新庁舎建設課 ☎709・0593



建築概要

敷地	
建設地	町田市森野二丁目939番1
敷地面積	約18,000m ² （道路整備後15,644.1m ² ）
本庁舎	
建築面積	7,664.6m ²
延床面積	41,510.1m ²
階数	地下1階、地上10階、塔屋2階
高さ	42.560m
構造	(地上) 鉄骨造 (地下) 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造
来庁者用駐車場	199台
事業費	
建築工事費	約150億円

図2 施工者決定までのスケジュール（予定）

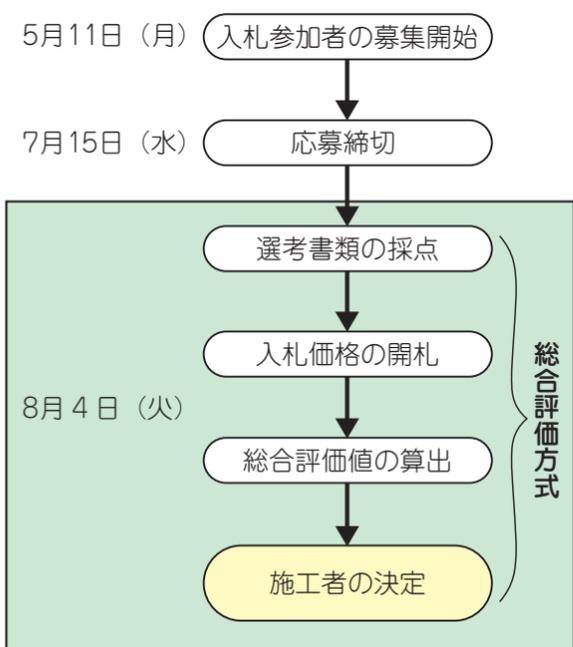
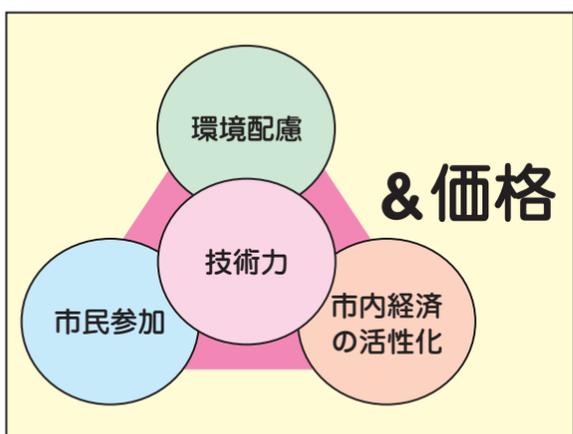


図3 総合評価のイメージ



新庁舎の主な特徴について

新しい市庁舎では、行政の拠点としての役割に加え、市民の拠り所となる開かれた庁舎を目指しています。新庁舎の主な特徴は、次のとおりです。

- 1. 利用しやすい窓口の配置**
市民が利用する機会の多い証明書の発行や、転入転出などに伴う手続を1階の総合窓口で行い、複数の手続きが一か所で行えるようになります。また、来庁者の多い相談窓口を1・2階にまとめて配置し、誰にもわかりやすい庁舎となります。
- 2. 市民協働空間の確保**
行政計画等の企画立案段階における市民と行政との話し合いの場や、ワークショップスペースなどの市民参加型活動の場を2階に確保し、市民と行政の協働での活動がしやすくなります。
- 3. 防災・災害復興拠点機能の整備**
庁舎の耐震性能を通常建物基準の1.5倍の強度とし、災害対策本部室を始め、災害発生時の情報拠点となるための機器や機能を整備し、防災・災害復興拠点とします。このことにより、災害に対して、より迅速に対応できるようになります。
- 4. 将来変化に柔軟に対応できる空間配置**
エレベーター、トイレ等を北側と南側の両側に集中配置することにより、執務空間を連続して確保します。こうすることで、将来の組織変更や業務変化にも対応しやすくなります。
- 5. 環境への配慮**
アトリウム（吹き抜け空間）を設けることで、自然光を採り入れやすくしたり、空調効果を高めるなど、省エネルギー効果の高い建物になります。また、緑を多く配置し、景観にも配慮します。

施工者選定について

市では、本年秋からの工事着工に向けて、施工者の選定作業を進めていきます。

- 1. 施工者決定までのスケジュール**
施工者決定までのスケジュールは図2のとおりです。
本日から入札参加者の公募を始め、入札参加資格の確認の後、総合評価方式により施工者を決定します（詳しくは、町田市ホームページ→「トップページ」→「市政情報」→「新庁舎計画」をご覧ください）。
- 2. 総合評価方式とは**
総合評価方式とは、単に価格だけの競争ではなく、技術力等を加味して総合的に評価し、施工者を決定する方式のことで、国土交通省でも推奨している方式です。
町田市の新庁舎計画には、これまで多くの市民や学識経験者が参加し、議会、行政と一体となって設計を練り上げてきた経緯があります（詳しくは4面をご覧ください）。また、新庁舎の建設を市内経済の発展に生かすということも大切な視点であると考えています。
そこで、単に価格のみの競争で施工者を決定するのではなく、施工者の技術力、市内経済活性化等の要素も加味した、総合評価方式により施工者を決定します（図3）。
なお、評価にあたっては、公平性を確保するため、外部の有識者で構成する委員会を設置し意見を求めます。